

# 世羅高 同窓会会報

発行  
広島県立世羅高等学校  
同窓会報編集委員会  
世羅郡世羅町本郷870番地

## 第五号発刊によせて



同窓会会長 小島 敏文  
(昭44高卒)

会員並びに地域の皆様におかれましては、本会の運営につき、日頃から格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて我が国は今、内外ともに大変厳しい情勢におかれています。

とりわけ、長期的な景気低迷にあつて国民の間に閉塞感が蔓延し、正義感や規範意識が希薄になっていく一方で、昨今の青少年犯罪や非行、あるいは学力低下への懸念や不登校・中途退学の問題に象徴されるように、教育はまさに危機的な状況に直面していると言つても過言ではありません。

こうした中で、国の中央教育審議会から、これからの日本の教育を方向づける重要な答申が、今年の三月と十月に相次いで出されています。三月に出された答申では、二十一世紀を切り拓いて行く心豊

かであくましい日本人の育成が必要であり、そのためには、これからの教育理念や原則を明確にすること、具体的には、教育基本法を新しい時代にふさわしいものとなるように改正するとともに、その理念に基いて教育改革を進めて行くための教育振興基本計画を策定することなどを求めています。また、十月に出された答申では、現在の学習指導要領において、授業では、「取り扱わない」、いわゆる「はどめ」が規定されている部分について見直しを行い、特に必要な場合には、「はどめ」規定にかかわらず指導出来ることを明確にするよう提言しています。

始まっています。また、前途の「総合的な学習時間」の充実にも積極的に取り組んでおり、その成果を、十月に開催した「世羅高学びピア」において発表することもに、生徒が大学の最先端の研究成果や進んだ内容の講義を受けることにより、学ぶことへの興味を喚起し、将来への展望を持てるようになるため、大学教官による出張講義も行われています。

さらに、地域の六十歳以上の方々や世羅高校生と一緒に授業を受ける「シニアシチズンカレッジ」をスタートさせ、バイオテクノロジータと花と緑のまちづくり講座なども開講されています。

併せて、各学校の創意工夫による特色のある教育活動である「総合的な学習時間」および個に合った指導の一層の充実等を求めています。これら二つの答申は、これからの教育においては、確かな学力とともに、自立性・創造性を備えた人間、国家・社会の形成に主体的に参画する人間、日本の伝統・文化を基盤として国際社会を生きる教養ある日本人の育成などが重要なであることを示しています。

本県においては、基礎・基本の定着・学力の向上・道徳教育の充実等の面で、国に先行する様々な施策を展開していますが、我が世羅高校においても、今年度から、学力向上フロンティアハイスクール事業の指定校としての取組みが

流れて清し大田川 教えは永遠に



# 創立110周年を目指して



校長 田邊 康嗣

地元、世羅郡内の中学校卒業予定者は、平成15年度の222人から平成17年度には173人に急減します。

こうした厳しい環境のもとで、世羅高等学校は平成18年に、創立110周年を迎えますが、1学年6学級240人の募集定員を維持していくためには、(1) 都市部に負けない学力向上を実現する学校であること、(2) 都市部にない、スポーツや文化活動の盛んな学校をつくること、(3) 地域のニーズに応える、高付加価値の学校をつくること、以上の三点が必要だと考えます

## (1) 都市部に負けない、学力向上を実現する学校

今、県内の高等学校は、生徒急減期を迎え、国立大学や有名私立大学・難関私立大学への進学、スポーツや文化活動などの魅力がある学校づくりに邁進し、それぞれが生き残りに全力を傾けています。世羅高等学校が、こうした厳しい生存競争を勝ち抜くためには、都市部の学校に負けない学力向上を実現する学校となり、世羅台地の若年人口の流出に歯止めをかけ、

逆に都市部を含む県内一円から生徒が本校を目指して流入することを目指す。

そのため、今年度から、文部科学省の「学力向上フロンティアハイスクール研究開発事業」を実施しています。

また、昨年度から各科目で国語・数学・英語の教科で、習熟度別授業を行っています。更に、今年度から、研究開発の一環として、普通科に「特進クラス」を設置したり、大学レベルの発展的な授業を行う、「知力開発」の講座や、中国語やフランス語等の第2外国語の授業も行うこととしています。

また、専門学科においては、簿記一級や気象予報士、介護福祉士などの高度な資格取得を目指しています。

加えて、総合選択制をも取り入れ、コースの枠組みを越えて、普通科の生徒も専門的な資格取得をしたり、起業家育成の授業を受けることもできます。逆に専門学科の生徒が進学に対応できる普通科の授業を受けることもできます。

要は、いずれの学科の生徒も進路に向けた自己実現の達成のために十分な学力や専門的な技能を身につける条件整備を着々としているところでありませぬ。

## (2) 都市部にない、スポーツや文化活動等が盛んな学校

世羅高等学校が、県内一円から多くの生徒が進学してくる学校に

なるためには、学力向上だけでなく、スポーツや文化活動が盛んな魅力ある学校となる必要があります。

男子陸上部は、今年の全国高校駅伝大会への出場権を得ることはできませんでしたが、全国制覇4回の輝かしい歴史と伝統があり、「駅伝の世羅」として全国に知れ渡っていることは自明の理であります。また、女子陸上も昨年、今年と県予選で連続第3位に入賞し、全国大会出場も今一步のところまで力を付けています。本校創立110周年記念の年には、ぜひとも全国高校駅伝競走大会に男女アベック出場を実現したいと思っております。

野球部は、部員9人を揃えることすら困難な時期もありましたが、今では部員40名位になり、地区大会を勝ち進んで、県大会への出場に選出される常連チームにまで成長しました。今後、更に部員の倍増を目指し、選手の一層の強化を図り甲子園大会出場をめざしたいと意気込んでいます。

世羅西町はサッカーを中心に、スポーツ専門学校の誘致が検討されているやに聞き及んでいます。また、世羅町の香遊ランドの設置の有効利用を図るためにも、世羅高校サッカー部を全国レベルに育てることも望まれます。

その他、本校では剣道部、バレーボール部、バスケット部、卓球部

などの運動部や、ブラスバンド部、美術部などの文化部も活発に活動しており、今後ますます強化していきたいと思っております。

## (3) 地域のニーズに応える、高付加価値の学校

世羅高等学校は教育活動だけでなく、スポーツ・文化活動など、豊かな自然や農場などの様々な施設を積極的に活用し、高付加価値の学校を実現し、都会や周辺地域からも多くの人々が訪れる、魅力ある世羅台地の実現に貢献することが期待されています。

本校では、現在、陸上部と野球部を中心に、寮生は男女合わせて64名おり、食費だけでも年間250万円の経済効果があります。

世羅高等学校がスポーツや文化活動の盛んな学校となり、県内一円から多くの生徒が進学してくる学校となること、世羅台地の経済効果を高め、世羅台地の活性化に貢献することが出来ます。

本校は60才以上の高齢者を対象にした「セラ・シニア・シチズン・カレッジ」を開設し、農業生産物の生産や世羅台地の農場や山林等の環境保全活動、商品開発、商品販売等を専門学科の生徒と一緒にしています。

世羅高等学校は「セラ・シニア・シチズン・カレッジ」を通して、60才以上の高齢者の方々が第2の人生を積極的に生きて行かれることを支援したいと考えています。

大田庄の自然と四季をお菓子につづり

和菓子処



甲山町甲山95 ☎22-5143

橋田製あん ☎22-0343(代)・FAX22-0634

(株)はしだ 橋田満樹 ☎22-3933・FAX22-3935

こだわりの手造り

豆腐・油揚げ・青豆腐

〒722-1123 広島県世羅郡甲山町大字甲山205番地



上川商店

TEL (0847) 22-0676

FAX (0847) 22-3920

更に、世羅高校の生徒と地域の若者を中心に、世羅香遊ランドなどのグラウンドや農場、宿泊施設や建設予定の農業公園の施設、福祉施設などを有効に活用し、世羅台地に県内外から、多数の人が訪れて見たくなるような教育活動やスポーツ・文化活動を企画していきます。こうした企画への若者の参加が、若者に対する世羅台地の魅力となり、世羅台地への若者の定着を促進し、世羅台地の活性化につながるものと考えています。

以上、世羅高校が直面している問題点と、その課題解決に向けた展望を明らかにしました。これらはいずれも、単に理念だけにとどまることがなく、実現に向けて邁進し、平成18年度の創立110周年の時には、同窓生の皆さんを始め、保護者や地域の皆さんから誇りに思っていただけの学校になるように努力する決意であります。

### 学校だより

#### 陸上競技部

第55回全国高校総体(長崎)

男子 棒高跳 竹本 慎吾

男子 800m 竹野 英郎

男子 5,000m 15位 サムエル・ガンガ

男子 3,000m 5,000m 江野脇勝幸

男子 3,000m 3位 ウィンフリーダ

男子 3,000m 3位 ウィンフリーダ

男子 優勝 女子 4位

男子 優勝 女子 4位

ジュニアオリンピック(横浜)

男子 棒高跳 竹本 慎吾

日本ジュニア選手権

5,000m 1位 ウィンフリーダ

県高校駅伝 男子 2位 女子 3位

中国高校駅伝 男子 5位 女子 6位

野球部

第85回全国高校野球選手権広島大会

世羅3-6工大

秋季高等学校広島県大会

世羅0-7如水館

剣道部

県高校総体(団体戦)

男子団体 世羅2-2国際学院

女子団体 世羅0-3日彰館

世羅0-3神辺旭

バレー部女子

県高校総体

世羅1-2日彰館

ソフトテニス部

県高校総体

個人戦 米重・藤高ペア二回戦

団体戦 男子 世羅1-2近大東広島

女子 世羅2-1高陽

バスケット部

県高校総体

女子 世羅18-70広商

サッカー部

全国高校サッカー選手権大会広島県大会

世羅0-2忠海

ソフトボール部

県高校女子ソフトボール秋季選手権大会

海三十万人の闘い

海三十万人の闘い

海三十万人の闘い

海三十万人の闘い

海三十万人の闘い

世羅1-12安古市  
県高校ソフトボール新人県大会  
世羅0-14市立福山  
第54回日本学校農業クラブ全国大会(秋田大会)  
農業情報処理競技会 矢敷 典弘

### “ようこそ先輩”

卒業生小平さん  
母校で講演



十月二十  
五日(土)、  
「世羅高学  
びピア in  
2003」  
に小平裕基  
さん(昭61  
高卒。現在NHKディレクター。)  
が来校。「プロジェクトX」挑  
者からのメッセージ」と題して、  
体育館で在校生や地域の人達を前  
に50分間の講演をされました。話  
は、十七年前、本校一年生で卓球  
部に所属していた小平さんが、遠  
征先で出会った働きながら定時制  
高校に通う一女性へのほのかな恋  
の思い出に始まり、それを発奮材  
料として自分を勉学に打ち込むよ  
うに仕向けた青春の日の挑戦。  
「動機はどうであれ、自分の好き  
なことを見つけて、それに没頭す  
ることが大切」と語り、続いてス  
クリーンに自分が手掛けた番組  
「ナホトカ号重油流出事故」日本  
海三十万人の闘い」の一部を写し

### 同窓生より

昭和某年十二月  
全国駅伝競走を見る



此の年の秋  
世羅高校駅伝  
チームは、驚  
異的な好記録  
で県大会で優  
勝し、栄ある全国大会への出場権  
を手にしていた。初冬、選手達は  
全国制覇をめざして郷関を後にし  
た。蕭々たる北風も彼等には心持  
よい微風であった。数日後には大  
優勝旗を擁して帰還するだろうこ  
とを疑う者はいなかった。

世羅高校が全国大会に出場する時は、大抵三条京阪の旅館に宿泊した。この年は何故か嵐山の某ホテルに宿泊した。出発点でもあり又決勝点でもある西京極競技場に比較的近く、空気も良く、景勝の地として有名ではあるが、十二月下旬となると閑散であることなどが主な理由だったらしい。選手は此処で英気を養い本番に備えたのである。然し、好事魔多しと言うか、非情と言うべきか、食中毒に見舞われた。誰もが夢想だにしな

O A 機器・事務用品・学用品 } 卸・小売  
オフィス家具・教材教具・教科書

コクヨ 森田尚文館  
特約店

森田 努 (S29年卒)

世羅郡甲山町 TEL 22-0136(代)  
FAX 22-3051

趣味のきものとファッションの店

有限会社 奥呉服店

甲山町本通り TEL(0847)22-0006

かつた事である。悪心・嘔吐・下痢・腹痛、選手にとっては致命的な打撃である。幸いにも世羅中先輩の上田先生の献身的な尽力に依って、辛うじて出走出来たと云つても、決して過言ではない。但し私が食中毒の事実を知ったのは随分後の事である。

西京極競技場では、定刻の号砲を合図にレースが展開された。わが選手達の足どりは重かった。時に利あらず離ゆかず。後方集団の中にあって苦戦の連続であった。中盤から終盤にかけて稍リズムに乗り、結局五位か六位の入賞にとどまった。強豪チームの片鱗を示したが、優勝の夢はもろくも潰え去ったのである。かくしてレースは終わった。レースの始まった頃は、広い競技場に人影はまばらであったが、終りが近づくにつれて何時集まったのかと思う程、大勢の応援団や見物人が詰めかけていた。世羅高校の横幕の場所にも勿論大勢の人が集まっていた。郷里から来た人、或いは京阪神に在住する同窓生達であろう。お互いに郷里の方言で話し合っていたが、知己もなく群集の中の孤独を味わいながら一人離れて、一番後ろの席から見るともなく彼等を眺めていた。

ければ、どうにもならない雰囲気。が応援団の中に充滿していたのかも知れない。土下座は実際には短い時間かも知れないが、私には非常に長い時間であった。誰一人として監督を助け起こそうとする人はいなかった。この光景を見るに堪えられなくなり、逃げるようにこの場を去り、一人帰途についた。電車の中での光景を思い出し、言いようのない空しさや腹立たしさを覚えた。応援団の中には優勝出来なかつたことに不満の人も確かにあつたと思う。食中毒のことも知らなかつたであろう。だが然しこんな人の為には必死の思いで走ることはない。・・・つい先刻まで青息吐息で心配した人々は、一体どんな気持でこの場に居たのだろうか。「監督、どうぞお立ち下さい。選手は絶対絶命の中にも不撓不屈、かくも立派に走り抜きました。運不運ということもありました。今日の完走は優勝に勝るとも決して劣るものではありません。さあ、お立ちなさい。大手を振って誇りをもって帰ろうではありませんか。」—こんな気持の人が一人も居なかつたとは恥ずかしいではないか。駅伝競走は学校行事の一つではないか。食中毒は監督の責任ではない。もし監督の責任だとすれば、同行の職員や同窓会の人達も同罪であろう。かく言う私自身は逃げ出したのであるから、もっと卑劣かも知れない。この事

件を思い出す度に、自らの卑劣を後悔し、監督には申し訳ない事をしたと思つてゐる。

〔付記〕

(一) 上田先生⇨上田高久。甲山町出身。旧姓佐伯。旧制広島高校から京都大学医学部に進まれた後、京都市上京区で医院を開業。先年亡くなられた。

戦の庭に

黒木カズ子(昭18女卒)



うすれかけ  
た遠い記憶の  
中の一コマ、  
又一コマと少  
しづつ浮かび

上つて来る甲山高女の面影。それは、「何か書いて下さい」との御連絡を戴いたその日の事でした。以来毎日あんな事も、こんな事も、実に六十年前の出来事に懐かしさと共に、「慕情」、「肯定」、「納得」と人生のあらゆる事柄の集約され、凝縮された四年間の思い出、それは玉手箱となつて沈みゆく私の脳細胞に静かに語りかけてくれたのです。

思えば、私共の学校生活は戦時に、始まり戦時に終りました。戦時中を成長期とし、戦争の終結が、二十才、正に現在の成人式の年齢の私達でした。

入学当時、(昭和十四年)「欲しがりませぬ勝つ迄は」と戦争の日増しに加わる厳しさを身近にひし

ひしと感じる一日一日でした。勤勞奉仕作業に明け暮れる日々、出征兵士遺家族への田植や稲刈り、麦刈り作業に開墾、そして、炭焼き作業では、宇根山に鳥越えの山にと、大八車を押し乍ら晩秋の山路を登つた事が昨日の事の様に思い起こされます。この灰ずみは冬季の私達の指先の冷たさをカバーしてくれました。

又、学校農園では、「ガングの切り方」、「肥料桶のかつき方」と：私は、まるで女農学校の様だナと当時一人心中で思つていました。

こんな中、戦局は苛酷を加え、「一億一心火の玉だ」「ぜいたくは敵だ」と、食料、衣料等、あらゆる物資の極度に不足の中、戦争とはこんなものであるとの思いは日々増大し、不自由さをも甘んじて受入れたのでしょうか。勤勞作業の繰り返しの毎日でしたが、誰一人として不平も不満も耳にする事はありませんでした。

そしてこんな歌が歌われていました。「月月火水木金金」と言う歌です。しんどい時、誰の口からもなく歌われるのです。そう、その続きは「土曜日曜あるものか」と。

勤勞作業と学業の学校生活でしたが、一人の退学者もなく、自宅通学、寄宿舎通学の全員五十五名、和気藹々と過ごした珠玉の四年間卒業式という儀式によって、「別

TOCHU GROUP スズキ専門店

**スズキオートSHOP**

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場  
トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

**アラタニオート(株)**

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

健康で住み心地の良いお部屋造  
家屋を守る白蟻消毒

株式会社 **もみの木畳店**

世羅郡甲山町 TEL(0847)22-1426(代)  
FAX(0847)22-1893

れてしまったと思つた程の辛い最後の日の事は今も忘れる事は出来ません。

そして別れた友は女子挺身隊員として呉工廠に、又在学中の後輩の方達も学び舎を工廠内の作業所に移し作業主体の学校生活を過ごし学徒動員の一日一日を過ごされたのです。

私は卒業後昭和十八年十一月、東京。大内山の一面にありました東部軍司令部女子通信隊員として終戦の日迄勤める事となりました。電波探知機での敵機来襲情報の速報、「空襲警報の発令と解除」、「監視隊本部からの情報受信」と学校生活の何倍もの誠にきびしい軍隊の生活でした。

起床時間をはじめ、就寝、食事、外出、すべて時間がきめられていました。

こんな事もありました。昭和十九年は、まだ空襲もなく、外出も月三回許可されていました。午前八時から五時迄です。一分でも遅れると外出禁止となります。休日、友人三名と外出した日の事、当時は食べる物等売っている店等ありませんでしたが、その日は長い長い行列が出来ていました。「何だろ」「三名はすぐに並び、友の一人がどんどん走って一番前に行き、調べたのです。「みつ豆一人三杯迄」だって。「ようし食べて帰ろ」と衆議一決！並びました、待ちました。行列はちつとも進まな

いに時間はほとんど過ぎてゆきます。「もう五分」「もう五分」「もう駄目だ」。四人は食べる事を諦めてお濠端を一目散に走りまわりました。その時の竹橋の何と長かつた事か。衛兵司令部の前で五時ピツシヤリ。門衛さんが「大丈夫五時ですよ」と笑顔を見せてくれました。

当時は、あらゆる物資が行列をしないと買えない状態でした。化粧水一びん買うにもそうでした。そして、明けた昭和二十年、防空壕に入ったり出たりの日々でしたが、特に二月二十五日は一日中波状攻撃で延べ二千五百機と発表された空襲。着のみ着のままとなりました。

ついで三月十日、五月二十五日と東京は焼野原となり、本土決戦の言葉も耳にする事となり、誰もが最後の一日一日が近づくの何となく肌で感じていたのだと思えます。

そして、八月十五日、朝からB29の飛来で防空壕に入ったり出たり、この爆音で重大放送は判らざじまいでした。

決して二度と繰り返してはならない事、その戦争と言う悲しい事実を私達は身を以って経験しました。

「思い出が戦」という悲しい事実は、否めませんが、学徒動員で、又挺身隊員として出動された方達が、空襲に遭われ乍らも全員無事

甲山の地を踏まれた事は何よりと今にして、しみじみと思われるのです。以来五十有余年の歳月が流れました。

戦時から平和へ、豊かな物質文明の現在、目まぐるしく変わりゆく世相に、平和を、平穩を、と願いつらペンを置きます。

### 往事茫茫

蔵橋 稔(昭22中卒)



二年前、永らく勤務した会社の会長や、各業界団体の要職を退任し、

今はストレスもなく自由の身となつて静かな余生を送っている。今振り返れば、この半世紀は私にとつては激動の時代だったと思う。それは、大学時代に学生運動をやり過ぎたことで、そこから私の運命が変わってきたのである。学校からは無期停学を受け、一年遅れで卒業したが、例のレッドパージで私にはろくな就職先が無かつたわけで、土木工学科の友達はみな官庁、大企業へと就職して行った。

私は大阪にいた叔父に、どんな処でも構わぬからと頼んだのが現在の会社であった。

バイトのつもりで入社して以来、頑張つて半世紀、会社の代表として引退できたのは、この会社が余程、私の性に合ったとしか言いようがなかつたと、今は確信してい

る。

入社した会社は、大企業である日立造船や、その他、橋梁メーカーの下請けで、鋼橋の橋梁架設専門工事会社(今は資本金一億)であった。性に合ったわけは、会社の規模、分野とも比較的小さくまとまつていたので、努力して直ぐに上に昇り詰めたのが、原因だと思つている。

入社して最初から現場責任者として、各地で橋梁の架設を転々として歩き、貴重な経験を積んだ技術者として基礎を作り上げたわけである。

ところで、最初に出会った大型工事は、バンコックのメナム川を跨ぐ三橋の鋼橋架設工事であった。三橋の位置関係は、上流からパトングダ二橋(ドンマン空港西側)、次いでサムセン橋(中心街)、そして下流の河口付近のバンコック橋の計、三橋であった。

当初、私の経験は二年に満たず、年齢も二十六歳足らずで若すぎると言うことで、タイ国土木局あたりから強いクレームが出て、眠れない夜が続いた。

実際、その当時は、一般土木の技術者は数多くいたが、鋼橋架設の経験者は極めて稀な存在で、代わりの人が居るわけがなかつた。

上流の二橋は、トラス型の一般橋梁で、架設機材が特殊大型で、橋梁の数も多くて、疲れ果ててダウンしたこともあり、また工費用

## 進物の玉浦

☎0847-22-1107  
FAX. 0847-22-1567



〒722-1121  
世羅郡甲山町西上原612-2  
営業時間/AM8:00~PM7:00  
年中無休



## 株式会社 田中商店

代表取締役 田中 信博

TEL (0847) 22-0026

発電機、建設機械の騒音とギリギリと照りつける太陽や、メナムの照り返しに苦しんだのも今は懐かしい思い出である。

最後の橋梁で、経験がなくて困ったのがバンコック橋であった。この橋は、わが国も隅田川の勝関橋(現在は可動していない)と同じ型の開閉橋で、大型でスパンも長かった。

これは鋼橋の架設工法のほか、機械工学、電気工学、その他の専門知識がなければ、とても完成するのは不可能と思えた。元請の関係先に増員を依頼したが、来てくれたのは、機械、電気ともに技術者ではなく、熟練工であった。

その中で有難かったのは、東芝電気の指導員の存在であった。鋼橋の組み立て、開閉橋の重心計算(バランススウェイトの投入)と施工は私がやらざるを得なくて、まさに試行錯誤の連続であった。

計算が電算化したのは、東京オリピック前からで、当時(昭和三十四年)は手計算で、徹夜しても私には無理であった。数多い減速機類の据付、ロックピンの作動状況、配電盤の不具合のチェックなど、初めて経験することばかりであった。

その中でも、バランススウェイト投入の施工不具合から来る、重心のミリ単位の移動による手戻り修正工事であった。当初、全体工期は二年位、だろう

と見込んでいたものが、全て竣工して帰国出来て、羽田に降りたのは三年余り経過していた。

実は一昨年、四十五年振りに家内と一緒にバンコックの観光をした際にこの三橋を見学することが出来た。上流の二橋がアユタヤ行きの観光船で見学したが、メナム川を跨いだ壮大な架け橋上を車両が往来していたのは見事であった。

開閉橋は陸路で見学したが、竣工当時はなかったPC桁(コンクリート橋)が、開閉橋の上空に架けてあり、この橋で、橋を開閉する時に交通を確保するのだとガイドは言っていた。そして、この開閉橋は絶えずメンテナンスばかりしており、今は観光名所になっているのだと言っていた。

帰国後は、高度成長期に入り、わが国の長大橋から大小様々の架設に従事してきた。

最近、道路四公団(日本道路、首都高速、阪神高速、本州四国)が、わが国の財政赤字の張本人のように言われており、国民にとつて無駄なインフラをして来たと言われているけれども、だからといって、その責任は誰が負うのであるか。



### 出逢いから ドラマが始まる

田中 一裕 (昭45高卒)



私は昭和四十五年世羅高校を卒業後、県立農業短大畜産学科に進み、地元世羅郡農協へ就職。その後、三次市にある福祉専門学校で専任講師をしながら現在に至っています。

今、自分の人生を振り返って見ると人生の大きなターニングポイントには高校時代にいい先生と出逢えた事だと思っています。

一つの出逢いは、体操部顧問の山野先生との出逢い。基礎体力や柔軟性、決断力(自分を信じて宙返りなどの技にチャレンジする勇氣)を徹底して鍛え(いや「シゴキ」かな)られました。その割りには技は上達しませんでした。：。

もう一つの出逢いは、当時学生運動が盛んな時代でありましたが、たまたま生徒会長への立候補がいなくて、吉宗先輩(チューリップ・ヒマワリの旭鷹農園開設者)に応援をして頂き生徒会長を一期務めさせて戴きました。その後も生徒会活動のキャンプ行事等にもかかわることとなるのですが、この顧問の佐々木・重岡両先生には夕食を御馳走になったり、宿舎に泊めて戴いたりしながら、いろいろ

なご指導を戴き育ててもらった事心から感謝しております。

これらを起点にして、地元就職後、趣味で始めたレクリエーション活動が、ついに今の私の本職(レクリエーション・コーディネーター)になっていきます。

今までかかわった面白いイベントを紹介すると、「全日本手づくりゴム動力自動車レース」(人が乗れて百メートル位走行。NHK・BSで中継)や「大田の荘稲刈り大会」(農業体験で、町と田舎の交流。NHK「明るい農村」で紹介)。「大田の荘本物を見る会」(タレントの永六輔さんの紹介で「本物の芸」を演じられる人を地方で紹介下さっていた。)

この他、以前、世羅町には文化ホールがなく、コンサートをするにも公民館に自由に使えるピアノがなかった為、世羅高校の駅伝をヒントに「四二万一九五〇円駅伝方式ピアノ購入運動」を展開。(二人当たり千円寄付をすると、白いピアノのボディに名前を書ける。四百二十二人集まるとゴールイン。ゴールインの記念コンサートは、同じ数字で四月二日十九時五分。その後、毎年記念日にはコンサートや講演会を七年間一七区間分実施。現在、ピアノは世羅町のトレーニンングセンターに置いてあります。)

また、大見小学校PTA活動では、十年間本部役員をさせて頂き、

医療法人 社団

# 藤原 眼科

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町大字本郷1028番地  
TEL0847-22-0077(代) FAX0847-22-2720  
●ホームページ <http://www.cisnet.or.jp/~fujiwara/>

## 仕出し料理・お弁当

# つるや

広島県世羅郡甲山町甲山  
TEL (0847) 22-0122

地域づくりは学校からと「人が大きく見える町・大見」をテーマに、楽しい学校と書いた「楽校」づくりにもかわらせて戴きました。この間、活動は全国PTA会長賞や文部大臣表彰を受ける事が出来、今も「地域活性化部」の行うイベント『大見星空まつり』は学校行事としては異例の六百人を超える方々が地区内外から参加、応援して下さいます。

最近の活動は「県北レクリエーション協会」の会長の役を戴き、指導者の養成を行いながら、各地の福祉・病院・学校関係でレクリエーションの指導をさせて頂いてもらっています。世羅高校でも、毎年、生活福祉科の生徒さんの実技指導にかかわらせて戴いています。今年の九月には『全国レクリエーション大会インひろしま』を開催し、主催者の一人として多くの全国の方々と交流させて頂きました。

これらのノウハウは、『過疎を逆手にとる会』(現在『逆手塾』)の「逆境を逆手にとる法」です。  
 ・「ない」と言うことは「なんでもやれる」可能性があること。  
 ・武器はアイデアと実践。  
 ・他人はどうあれ、過疎を相手に楽しく生きること。  
 など「プラス思考」の行き方です。「出会いからドラマが始まる」そんな楽しい生き方を、これから各地へ広げたいと思っています。

### 地域だより

## 東京校友会

奏典三(昭20中卒)

東京校友会は二〇〇三年十一月十六日総会を開くことになりました。今度の総会は二十五回総会となります。場所はJR山の手線、東日暮里駅前ホテル、ラングウッドとなっております。

東京校友会が発足したのは昭和三十八年一月でした。あれから四十年、振り返ると「高校三年生」、「柔道一代」が流行し、東京オリピック開催の前年でした。

設立当初は総会進行も世羅訛りが幅をきかしゆかいました。現在も、「お国言葉が懐かしくて出席するんよ。」とお話頂く方がおられます。

古里の訛り懐かしい停車場というところでしょう。

『とうきょう世羅』は同窓生の老・若、縦・横の連携を密にすることで、限られた情報の中、多少とも生活を豊かにする事が出来ればとの思いから遅時きながら、平成七年十月発行することを決め、ここに在京世羅高等学校同窓会の季刊紙第一号が誕生発行され、以来、現在まで十七号が会員及び関係者に届けられました。

新聞編集委員の方は『春・秋』発行する『とうきょう世羅』に会員の投稿やニュース等記事をいた

だくことで、プライベートの時間を割きながらボランティア活動を続けております。

このような隠れた協力体制によって、東京同窓会の運営と伝達は成り立っております。

## 近畿同窓会

会長 松尾千九三(昭25高卒)

平成十四年十一月三日、高校駅伝の広島県予選で優勝の吉報を受ける。早速、当会としての受け入れ準備に入る。十一月十日、役員会を開き、在阪企業、近畿圏同窓会員六四五名に全国大会出場の情報とカンパのお願い等の準備をする。十二月一日、同窓会企業各社への依頼状を送付する。十二月十九日、母校より田辺校長、仁田陸上部長が来阪。故久保正氏、故金行諦三氏宅へ御挨拶に参上、御霊前に報告し、健斗をお誓いする。

十二月二十日、田辺校長、仁田部長、金行、鍛冶谷、松尾の五名が木原産業㈱、松尾産業㈱、㈱クリン、広島県人会大阪事務所へ挨拶に廻る。午後、勝負有造前会長に色々とお世話になる。

十二月二十一日、木原産業の前会長の社葬に松尾が代表して参列する。十二月二十二日、全国高校駅伝大会。近畿同窓会、県人会より多数が応援に参加される。当夜、日昇ホテルでの選手の慰労会に役員六名が参加。  
 平成十五年三月二十三日、平成

十五年度役員会を開催。各学年別代表幹事会として、六月八日に開催することに決定。四月二十七日、幹事会の案内状と世羅高校同窓会報四号、十四年度会計報告書等を五四五通封入作業して発送する。

五月二十五日、広島県人会一二〇周年記念大会が三井アーバンホテルにて、広島県知事、市長、大阪府知事をはじめ、県内の各市町村からの代表と近畿在住会員約四〇〇名が出席し盛大に行われた。当同窓会より八名が参加。五月二十七日、当会副会長の神田哲郎氏のご逝去の悲報を受ける。氏は発足当時より多大の御盡力をいたした恩人で、各支部に悲報をFAXして御冥福を祈った。五月三十一日、役員五名で故人の御霊前にて長年の御盡力に感謝報恩の誠を捧げた。

六月八日、大東洋にて、学年別幹事会を開催。出席者三十一名(男性二十一名、女性十名)。年代では二十九年までが十六名、三十年以降は十五名で、活動方針、行事計画、会の活性化について活発に意見交換をした。

七月二十日、次期役員候補について、男性四名、女性三名、現役員六名の計十三名で準備委員会を開く。  
 七月二十六日、広島県学校同窓会関西連絡協議会の役員会に鍛冶谷幹事長が出席する。  
 八月十七日、同窓会総会に深申

地域とともに大きなふれあい

# 株式会社 山平組

代表取締役 山平正登

甲山町別迫711 電話(0847)24-0111(代)(本社)  
 電話(0847)24-0226(代)(工場)

**iwatani Life-Up** マルチ子プロパンガス・管工事業  
 昭和シェル石油特約販売店・住宅機器

## マルチ子株式会社

世羅郡甲山町大字西上原597番地

本社・甲山町SS 電話22-1101  
 世羅中央SS 電話22-0662

大光、金行陽三、鍛冶谷順、竹野眞樹、松尾千九三が出席。

### 福山支部

内海富海雄(昭28高卒)

福山支部長平林光司様より依頼があり筆をとりました。

小生福山市へ在住して三〇年余り、環境問題にとりくんできました。二〇〇〇年一二月旧通産省は備後地域を対象とした環境型経済拠点構想びんごエコタウンプランを承認しました。それに基いて福山市箕沖町にRDFを使って発電する事業がスタートしました。県内十五市町村のごみを固化化燃料(RDF)にし発電所に集め焼却して約二万キロワットの電力をつくります。ところが今年八月の三重県のRDF発電所の貯蔵タンクの爆発事故に続いて、福山のRDF発電施設においても試運転直後に火災事故が発生しました。要するに、RDF発電は技術的に運用が難しい点が多く、全国各地でトラブルが多発していることから、私は早期にこの事業から撤退すべきだと考えています。今回の事故は一般ごみの広域処理と未成熟な技術の性急な導入に問題があります。

一般ごみの処理は、各市町村の自区内処理の原則を貫き、分別収集の徹底とリサイクルが求められます。その他、福山では、芦田川の汚染や大気汚染の悪化、鞆港の埋立架橋問題等課題が山積しています。私は、今後も引き続き福山市の環境保全運動に全力をつくしていくように思っています。

### 呉支部

会長 大原重徳(昭33高卒)

阿部さん、安らかに…

「世羅の集い」(世羅高校同窓会呉支部)に悲しいニュースが流れた。五月八日のことである。阿部一雄顧問(旧制中学昭和六年卒)が亡くなられた。八十九才であった。

「世羅の集い」は、平成九年に産声をあげた。呉市に在住の同窓生に声をかけ、苦勞して立ち上げられたのは阿部さんと、杉山(旧姓井口)弘子(昭和二十八年卒)前会長である。

「あべダンボール」の会長であった阿部さんは、おしゃれでダンディーな人であった。また経営をご子息に託され、気さくな人でもあった。お孫さんの話ではすっかり好好爺でもあった。が、若い頃の話では明治の人の風貌が垣間見えた。葬儀の日、精神的支柱を失った会員は、坂村真民の詩に託して、弔意と決意をおくった。

先生の／あの清澄／あの放射／あの芳香  
それはどこからくるのであろうか  
先生の中に燃えている  
衆生無辺誓願度

### 台湾同学会

會長 陣 恒盛(昭20中卒)

その火を受け継がねばならぬ  
昔、台湾から海越え、山越えして世羅高校(当時の広島県立世羅中学校)へ前後して(昭和5年から昭和18年まで)学んだ人数は、全部で58名。その中、死亡者が32名、外国移住者7名、行方不明者が3名と、現台湾在住者が僅か16名で、至って会員の少ない同学会で全く淋しい思いで一杯です。でも、幸にして、台湾同学会の初代会長の葉水石さんと、二代目会長の陳振茂さんの御両人は、至つてご健健で、私達の良きリーダーとなつてくださり、本当に暖かき思いやりのある先輩に心から深く感謝しています。

### 本部だより

◆平成十五年度世羅高同窓会総会は八月十七日(日)、出席者六十名で世羅町本郷「玉乃家」で開催。小島会長、田邊校長の挨拶、新田智加子東京校友会理事、松尾千九三近畿同窓会会長、大原重徳呉支部長の祝辞の後、議事に入り、①平成十四年度事業および決算報

告②平成十五年度事業計画および予算案の承認がなされ、次いで陸上競技部の現況報告があり、記念撮影後、本年度当番学年幹事を代表して小林新高氏(昭二十中卒)の挨拶により親睦会に移りました。

総会に合せて田中翠さん(昭十九女卒)、岡本森夫さん(昭二十一中卒)などの同窓生がクラス会を持たれ、多くの参加で賑やかな親睦会となりました。

◆総会の事業計画でも承認されましたが、創立百十周年(二〇〇六年)を控え、記念事業実行委員会を常任役員を中心に関係者で準備を始めて行きたいと考えています。同窓会員名簿の改訂もあり、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 編集後記

今年も皆様の物心両面にわたるご協力により会報が継続出来ることを厚く感謝申し上げます。前号まで母校の現状報告に紙面の多くを割いて来ましたが、名実共に充実し、落着きを取り戻した母校の姿に安堵し、今回から同窓生だより重点を移しました。同窓生のご寄稿にご期待し、益々のご健勝をお祈り致します。  
編集委員 溝上尚美(S22年中卒) 伊藤陽康(S28年高卒) 石原正俊(S28年高卒) 仁田賢次(S44年高卒)

スーパーマーケット

# 日谷屋

■本部 世羅郡甲山町大字西上原字880番地5  
TEL (0847) 22-2828(代)  
FAX (0847) 22-2665

# パオ

甲山ショッピングモール  
甲山町西上原  
TEL(0847)22-3820